

城山台小学校児童急増対策 現在の進捗状況について

1 基本方針

城山台小学校では、多くの子どもたちや教職員の多様性を生かした「一人ひとりの能力・適性を最大限に伸ばす教育」の推進を目指し、「児童の安心・安全な教育環境の確保」「教職員の指導力・学校の組織力・地域連携の充実」を図るための施策を計画的・段階的に講じています。

2 対策の具体と進捗状況

施行計画と現在の進捗状況をお知らせします。

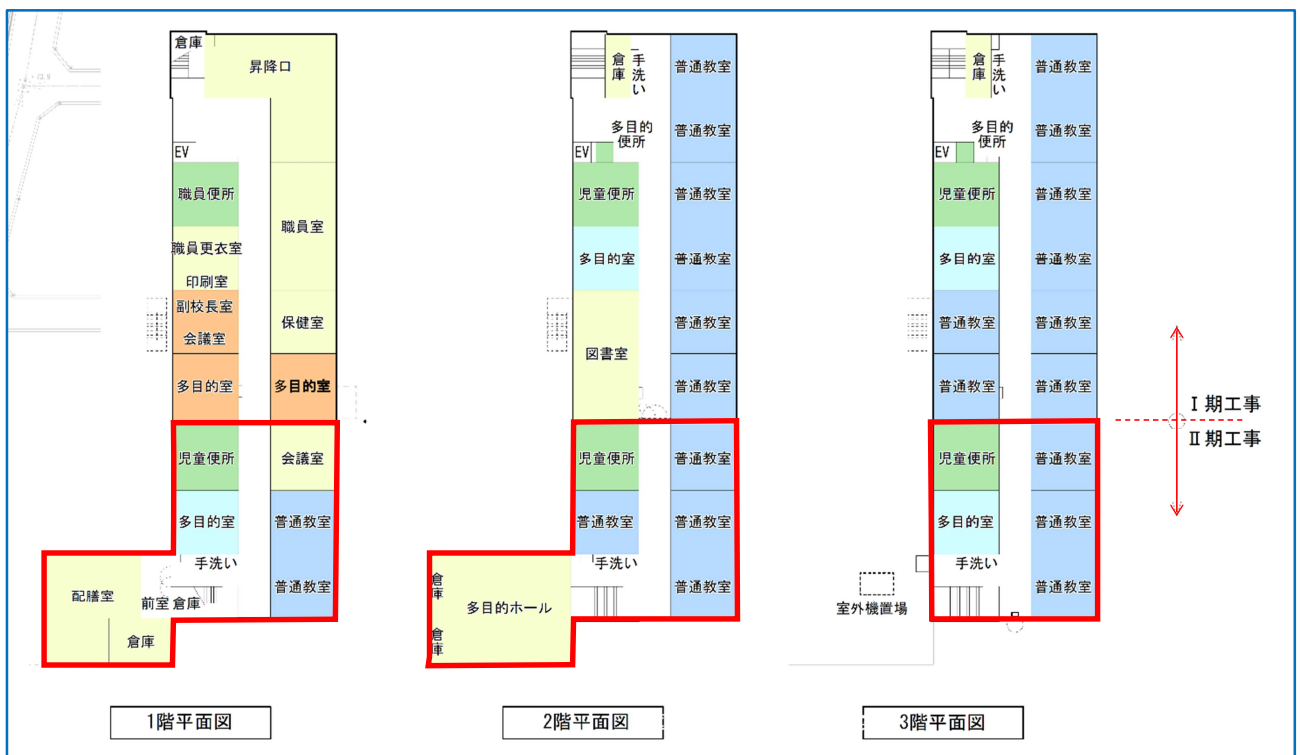


(1) 新学舎建設計画

- ・敷地内に新学舎（ふたば学舎）を設置し、機能的に独立した組織運営を実施します。

施策計画	R4 の進捗状況
ア I 期工事…R2 年度施工 普通教室 14、多目的室 3、副校長室、職員室、保健室、図書室、会議室、仮配膳室を設置	◇ 新学舎（ふたば学舎）は R3 年 3 月 25 日完成し、2、3 年生が使用しています。
イ II 期工事…R3 年度末～ 普通教室 9、多目的室 3、会議室、多目的ホール、配膳室を設置	◇ R3 年度末から施工に着手し、現在工事を進めており、R5 年度より供用開始予定です。

<増築校舎（Ⅱ期）平面図 1～3 階>



(2) 運動する場・遊びのスペースの確保

・運動場・体育館・プールの混雑を緩和するとともに、休憩時間に運動する場を確保します。

施策計画	R4 進捗状況
ア 城址公園グラウンドの活用 ・R3 年度より、5、6 年生の体育を実施 ・突然の降雨や雷雨、熱中症対策として空調完備の休憩所を設置 	◇ R4 年度では、4、5、6 年生の体育を実施しています。 ◇ 移動用スクールバス 2 台を、R3 年 3 月末に納車し活用しています。 ◇ グラウンド南東に空調設備完備の休憩所が完成し活用しています。
イ 元駐車場にひだまりホールを建設 ・体育に限らず集会活動、異年齢集団活動、教科の体験活動や休憩時間の遊び場として活用 	◇ ホールが完成し、体育の授業、特別授業、中間休み・昼休みの遊び場として開放したり、自治会の活動や投票所など地域の行事等にも活用しています。 ◇ 駐車スペース確保のため、近隣の民有地を借用し、駐車場を確保しました。
ウ 民間プールの活用 ・水泳学習の場として民間スイミングスクールに委託し、2、3 年生の授業を実施。 	◇ 今年度より、2、3 年生の水泳授業を民間スイミングスクールの協力のもと実施しています。 (2 年生は 6 月で終了。3 年生は 9 月に実施予定。) ◇ 校外での学習に備え、携帯電話を複数台配備しています。
エ 中庭に人工芝を設置 ・遊び場、憩いの場を整備 	◇ 中庭にゴムチップ舗装を施し、屋外での授業や遊び場・憩いの場としても活用しています。

(3) 学習指導・生徒指導対策

- ・専門顧問や教職員等の人的配置（ソフト面）と教材・教具の充実（ハード面）の両面からの整備により、学校体制を構築します。

施策計画	R4 進捗状況
ア 専門顧問を配置 ・学校経営、学力向上、いじめ生徒指導の各観点から専門的な知見を得て、校内指導体制を強化	◇ 3名の大学教授を専門顧問として委嘱しました。 ・（いじめ・生徒指導領域） 原清治 佛教大学副学長 ・（学校組織マネジメント領域） 浅野良一 兵庫教育大学大学院 特任教授 ・（学力向上組織） 黒上晴夫 関西大学教授 ◇ 校内指導体制を強化し、年間を通じて学校において現状分析や教職員向けの研修会等を実施しています。
イ 人的配置の充実 ・副校長、養護教諭、事務職員、英語専科教員、スクールカウンセラー、特別支援教育支援員、学校司書、用務員、配膳員を配置または増員 	◇ 副校長はR2年度より配置しています。 ◇ 英語専科教員についてはR3年度より専属配置しています。 ◇ 主幹教諭、養護教諭、事務職員、特別支援教育支援員、学校司書、用務員、配膳員、教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）をふたば学舎にも配置しています。
ウ ICT教育の推進 ・GIGAスクール構想に基づくオンライン授業の推進 ・個別最適化された学びと協働的な学びの実現	◇ 市情報教育研究会を中心に市立学校全体としての取組みを推進しています。
エ 教材・教具の充実 ・ピーク時を見通した備品整備を計画的に実施	◇ 定期的に学校との協議を持ち、連携を密に取りながら整備します。
オ 学校菜園の確保 ・校内に栽培活動の場を確保	◇ 運動場東側ビオトープ付近等に菜園を設置し活用しています。

(4) 学校の安全対策

- ・専門家の助言を得ながら、防災・防犯の両面から対策を講じます。

施策計画	R4 進捗状況
ア 人的配置の充実 ・防災、防犯面での学校安全…安全顧問を配置 ・食物アレルギー対応…専門職員を専属配置 ・登下校の安全…スクールガード・リーダーを配置	◇ R3 年度に続き、危機管理課より安全顧問を配置しています。 ◇ R3 年度に続き、管理栄養士をよつば学舎、ふたば学舎ともに配置しています。 ◇ R3 年度に続き、2 名を配置しています。
イ 災害時の安全確保 ・各学舎別に危機管理マニュアルを整備 ・安全顧問の助言を得ながら安全教育を実施	◇ 危機管理課の助言を受けながら、マニュアルに基づき避難訓練等の安全教育を実施しています。
ウ 感染症、学校事故及び防犯面での対策 ・施設面での整備 ・感染予防の徹底 	◇ ふたば学舎増築棟にも防犯カメラ、センサー、ミラー、インターホン、学校南西に校門を設置します。 ◇ R3 年度より、ふたば学舎にも学校医、歯科医、薬剤師を配置し、児童の健康管理と相談体制を強化しています。
エ 通学路の安全確保 ・「城山台地域通学路安全対策会議」(R2 年度より)を設置	◇ 通学路の安全確保に向けた取組を定期的に協議しています。

(5) 保護者・地域との連携

- ・地域に開かれ、地域に支えられ、地域に信頼される学校づくりを推進します。

施策計画	R4 進捗状況
ア 城山台小学校をコミュニティ・スクールに ・学校運営協議会を導入 ・学校運営方針への理解と協力を得る	◇ R3 年度に学校運営協議会を導入しました。学期に 1 回程度会議を実施しています。 ◇ 導入の意義や目的について教職員研修を実施する予定です。

(6) 学校選択制の導入

- ・城山台小学校区を学区外就学特定地域とし、他校への就学を承認します。

施策計画	R4 進捗状況
ア 特定地域学校選択制を導入 ・城山台小校区すべての未就学児及び転入児童を対象 ・初年度（R3 年度）は全在籍児童・来入児及び転入児童を対象	☆ R3 年度より実施しています。 ☆ R4 年度開始時点で 10 名、4 校への希望がありました。

(7) 児童クラブ

- ・ひだまりホールに、城山台児童クラブ 3 号館を設置します。

施策計画	R4 進捗状況
ア 城山台児童クラブ 3 号館を設置 ・ひだまりホール 2 階に保育室 3 室、トイレ、静養室を設置 	☆ R4 年度より供用開始しています。 ☆ 既存の 1 号館、2 号館と連携し、運営にあたっています。

3 教職員組織体制の質的・量的充実

児童数の増加に伴い、今後、教職員数も増加します。

城山台小学校では、令和 3 年度より、2 つの学舎においてそれぞれ独立した組織運営を行うことを基本とし、令和 4 年度も引き続き実施しています。

学年運営については、各学年の実働グループを A・B の二つに分け、主任と副主任がグループ長を務めます。グループ長のタッグにより、グループごと、グループ相互の協働体制を構築します。

また城山台小学校では、現在も校内研究において、教職員の主体性を重視し、興味・関心に基づいた教科グループを組み、授業改善についての研究を推進しています。令和 3 年度より、各専門顧問（大学教授）の知見を得ながら、グループ同士の相乗効果が組織全体の底上げにつながるよう研修を重ねています。

また木津川市教育委員会としても、城山台小教職員の質的・量的充実を図り、支援してまいります。

